



義務教育学校

育親学園だより 郷親創育

亀岡市立育親学園

4月号

令和7年4月9日発行

1学期始業式、子ども達は緊張した様子でしたが、とても立派な態度で式に臨んでくれました。7年生開始式でも校歌をみんなで頑張って歌い、育親学園2年目のよいスタートが切れました。素直で誠実な子ども達のよさをさらに伸ばせるように、教職員力を合わせて、教育に邁進する決意です。今後とも学校教育へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



【1学期始業式 校長講話より】

新校舎の工事が始まりました。3月25日からスタートし、あっという間にグラウンドは更地になり、新しい校舎を建てるための土台作りに取り掛かっています。春休み、出張から学校に帰ると、「久保先生！」声をかけられました。最近、名前と呼ばれることが少なくなりましたが、声をかけてくれたのは、担任として最後の卒業生の一人でした。「育親学園の校舎建築に来ました」教え子が、育親学園の建設に関わってくれているなんて、思ってもいなかったこと、そして突然の再会に、本当に嬉しい気持ちになりました。作業をしている様子を見ると、削った土が平らになるように、機械で固める作業をしていていました。工事関係の方々、交通整理をして下さっているの方々、資材を運んでいただく方々、様々な方々にお世話になり、新しい校舎を建てていただいていることに対して、改めて感謝の気持ちを持つことができました。

新校舎建設と同様、今年の育親学園は、去年1年間で創り上げた土台に、グレードアップした学園を建てる年だと考えています。ここにいる育親学園全員の力で、強く、しなやかな学園をつくりあげていきたいと思います。皆さんは木造建築で最も古い法隆寺の五重の塔を知っていますか。1300年間、現存する世界最古の木造建造物です。大きな地震がたびたび起こる日本で、なぜ五重の塔は倒れることがなかったのでしょうか。それは、柱と五重に重なった屋根が、互いに左右反対の動きをすることで、バランスをとって、大きな揺れを吸収する構造になっているからです。みんなに例えるならば、サードステージの8・9年生が柱、1年～7年が、重なった屋根となります。そして、ステージ内では、9年、7年、4年生が、柱の存在となります。大切なのは、大きな揺れに耐えられるのは、ある部分だけが強いのではなく、柱と屋根のしなやかな相互作用であるということです。学園でいえば、リーダーとメンバー互いが、よい影響を及ぼし合うからこそ、良いところを学び合い、学園全体として成長できるということを意識して欲しいです。

次に、学園全体をつくる一人ひとりが、強く、しなやかに成長して欲しいということについて、3つ話します。

一つ目は、挨拶です。挨拶は人間関係を作る第一歩です。令和6年度の修了式でもお話しましたが、特に廊下では、挨拶があふれていました。次は、学園全体、続いて地域全体にも挨拶を広げられる子どもになって欲しいと思います。学校に来校される方々、バス停で見送りをして下さい方々、横断歩道で見守って下さる方々に、自分から進んで、大きな声で挨拶ができることを目指してください。挨拶ができることは、大人になっても人間関係をつくる大きな武器になります。

二つ目は、運動を続けることです。新校舎を建設する期間、グラウンドが工事中で、体育や部活動では、体育館裏のサブグラウンドや旧本梅小学校を使うことを予定しています。体力をつけるためには、続けることが、ポイントです。体育の授業はもちろん、遊びや生活の中に、運動を取り入れ、毎日続ける習慣をつけて欲しいと思います。人間は100日で細胞が新しく生まれ変わります。100回続けることで、体力や体の変化として自覚できるようになります。楽しんでできる運動を100回続ける事を目標に、挑戦してください。

三つ目は、思いやりの心です。人のことを考えられるようになることは、大きな成長です。人間は、自分中心に考えてしまう弱さを持っています。だからこそ、日頃から想像力を働かせ、人のことを考える習慣を身に付けて欲しいです。なぜ、廊下を歩くことが大切なのでしょう。どうしてトイレのスリッパをそろえるのでしょうか。「情けは人のためならず」人のために考え、行動することは、やがて自分自身にとって、よい報いとなって帰ってくるものです。みんなの良さである優しさが、さらに広がっていくことを期待しています。

188名の児童生徒、60名の先生方、計248名で力を合わせ、新校舎建設と同様、さらにグレードアップした育親学園を創り上げていく年度にしていきたいと思います。

校長 久保 日出樹

【下校時刻について】

1年生～6年生（通常校時のとき）



バス出発時刻		給食なし3校時のとき
月	15:30	11:40
火	15:45	給食あり4校時のとき
水	14:30	13:10
木	15:45	
金	15:30	

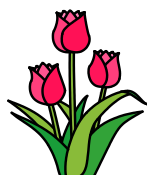
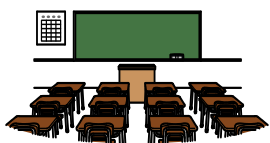
7年生～9年生（通常校時、部活動実施のとき）



月		部活動終了	完全下校
3・4月	春校時	16:45	17:00
5～9月	夏校時	17:00	17:15
10・11月	秋校時	16:45	17:00
11・12～2月	冬校時	16:30	16:45

『令和7年度の教職員』（教科・部活動等）

校長 久保 日出樹
 副校長 田村 修
 教頭 塩貝 真弓
 教頭 山下 修一郎
 教務 松本 泰和
 教務 中澤 利哉（保体・サッカー部）
 わかば1組担任 服部 博司
 わかば2組担任 福山 彩子
 ひまわり1組担任 岡本 絵理華（保体・美術部）
 ひまわり2組担任 大西 亮太郎（数学・陸上競技部）
 1年担任 奥村 静香
 2年担任 湯浅 ともみ
 3年担任・1st 副主任 沼田 直己
 4年担任 田中 映里
 1st 算数専科 石川 愛夏
 1st 主任 尾田 耕一
 5年担任 平松 真
 6年担任 泉 愛理
 2nd 副主任・7年主任 藤山 和也（社会・女子ソフトテニス部）
 7年担任 山村 京子（英語・サッカー部）
 7年副担 若林 由貴（英語・美術部）
 2nd 主任 牧野 珠美（家庭・理科専科）
 3rd 副主任・8年主任 芦田 由美子（社会・剣道部）
 8年担任 今井 睦予（数学・陸上競技部）
 8年副担 鈴木 大慧（理科・女子バレーボール部）
 3rd 主任・9年主任 畑 尚吾（数学・女子ソフトテニス部）
 9年担任 出垣内 留美（国語・女子バレーボール部）
 9年副担・進路主任 小森 葵（英語・剣道部）
 養護 宮崎 琴弓
 養護 松下 理沙
 栄養 井尻 浩子
 事務 渡邊 諭
 事務 片山 永里
 教科担当 三上 香里（国語）
 教科担当 中津 あおい（理科）
 教科担当 山崎 葉子（音楽）
 教科担当 鈴木 麗子（美術）
 教科担当 大釜 広和（技術）
 新規採用指導 濱田 浩志
 新規採用指導 中村 宣子
 新規採用指導 岡本 正夫
 教科補充等 湯浅 初美
 ニコニコ支援員・心の居場所サポーター 俣野 里沙
 教員業務支援員 福山 満美子



心の居場所サポーター・特別支援教育支援員

・教員業務支援員 村上 美佳

日本語指導コーディネーター 山根 慶子

外国語支援員 大杉 京子

部活指導員 寺田 典子

用務員 北口 由美子

用務員 高島 光晴

用務員 坂本 清貴

用務員 安里 茂

給食配膳員 松岡 文幸

給食配膳員 大森 美枝

スクールカウンセラー 森 大策

まなび生活アドバイザー 畑中 辰也

学校司書 吉田 雅和

A L T ナウマン マンナ

支援員 中川 寛

支援員 小島 恒夫



*1st:ファーストステージ（1年～4年）

2nd:セカンドステージ（5年～7年）

3rd:サードステージ（8年～9年）

◎セカンドステージ（特に5年・6年）において、一部教科担任制（後期課程（中学校）教員による教科指導）を実施します。

日	曜	4月行事予定
8	火	始業式・7年生開始式
9	水	入学式
10	木	発育測定（7・8・9年） 1～6年 11:40下校 7年 13:10下校 8・9年 15:00下校
11	金	発育測定（5・6年）地域班会（1～6年） リーダー研修会 部活長会 1～6年 11:40下校 7年 15:30下校 8・9年 17:00下校
12	土	
13	日	
14	月	給食開始 発育測定（1st）部活動ガイダンス
15	火	部活体験Ⅰ 内科検診（2・6・9年）
16	水	全国学力学習状況調査（9年質問調査・理科）
17	木	全国学力学習状況調査（6年国・算・理、9年国・数） 部活体験Ⅱ
18	金	全国学力学習状況調査（6年質問調査） 一斉部活動MT（7・8・9年）
19	土	亀岡市春季大会 （バレーボール・サッカー・ソフトテニス）
20	日	
21	月	3・7年参観・学級懇談会
22	火	9年修学旅行 2・4年参観・学級懇談会
23	水	9年修学旅行
24	木	9年修学旅行 1・6年参観・学級懇談会
25	金	1～4年校外学習 5・8年参観・学級懇談会 9年：午後から登校
26	土	亀岡市春季大会（サッカー・ソフトテニス・バレー予備）
27	日	春季大会（サッカー予備）
28	月	1～4年校外学習予備日
29	火	春季大会（ソフトテニス予備）
30	水	家庭訪問Ⅰ（畑野地域）